

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	①生涯学習施策の充実	自治公民館・集会所施設等整備補助	自治公民館・自治集会所の施設整備等に対し補助金を交付するもの。本年度は、施設修繕については、下大谷、永谷、下井、山の原、備品購入に対しては浦田、羽床上西部、寺の内、助安、視聴覚機材については角ヶ内の各自治公民館・集会所に補助金を交付した。	補助金交付要綱は平成25年度末までの時限となっているが、地域社会の振興や住民の自治意識高揚のために重要な役割を果たしており、また、費用対効果の観点からも継続が望まれる制度である。駐車場の整備については用地費のみが補助対象であったが、要綱を改正し23年度から工事費についても補助対象とする。また、いずれの補助も1回限りとなっているが住民からの強い要望もあり検討を要する。直ちに結論を出せないが自治公民館が地域振興の拠点としてさらに充実したものとなるよう努力する。	
		自治公民館連絡協議会補助・モデル自治公民館補助	自治公民館連絡協議会に定額の補助金を交付する。また、モデル自治公民館には教育委員会から直接補助金を交付するもの。	自治公民館連絡協議会に加入していない自治公民館・自治集会所が若干存在する。今後、加入を促進する必要がある。また、モデル公民館については毎年ほぼ同じ公民館から申請が出ており発展性が見られない。研修会等を行い事例紹介などに努める。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
		B	○自治公民館・自治集会所は、住民にとって親睦の場であり施策の充実を図るためには補助金は大きな役割を果たしている。  ・今後の課題としては、自治公民館・集会所機能の充実と活動の活性化が望まれる。		
教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	②青少年が健全に成長できる社会環境づくり	少年育成センターの運営	街頭補導と、適応指導教室が事業の主なものである。正規職員1名(所長)と臨時職員1名(指導員)の2名体制で、実施している。補導については、補導員(33人)が班別を実施する補導が年60日、指導員が警察官とともに実施する補導月2回、その他合同補導3回、列車補導3回程度実施している。適応指導教室については不登校の中学生のうち3年生3名、2年生2名の計5名を指導している。3年生については3名とも高校進学の見込みであるが、2年生については2名とも学級への復帰の見通しが立っていない。	中学生の非行や不登校等の問題は、年を追うごとにその深刻さの度合いを増しており、それに伴い育成センターの果たすべき役割も大きくなっている。綾南中学校の施設整備に伴い、育成センターの施設のあり方について議論を重ねてきたが、綾南中学校の敷地内に、中学校の施設からは独立した建物を建築する方向で検討している。23年4月から工事完了までは、支所に拠点を移して実施する。また、今年度運営協議会(条例等は整備済)を立ち上げることができた。今のままでは必ずしも十分とはいえないが、今後も、育成センターの運営に専門的意見を反映させることのできる環境を整備するよう努めていく。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
				B	○育成センターは、不登校生徒だけでなくその家族にとっても心のよりどころとなっている。  ・学校環境や家庭環境、社会環境に子どもたちが大きく左右される。育成センターの運営に関しては、施設整備と専門的な意見の反映が望まれる。

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	③ 青少年が健全に成長できる社会環境づくり	放課後児童クラブの運営	父母、祖父母等が勤務や病気などのため放課後養育できない小学1年から3年までの児童を預かるいわゆる学童保育である。最長で午後6時までの保育をしている。また、21年度から夏休み等長期休業中も午前8時30分からの保育を実施した。	いわゆるかぎっ子対策として始まった学童保育であるが、近年核家族化の進展や女性の社会進出等に伴い、ニーズは拡大傾向にある。本町においても開設時間や保育対象児童の範囲など拡充を求める要望は強い。但し、少子化が急激に進むことも予想され将来の展望は不透明である。今後の課題として指導員の確保が当面の課題である。生涯学習課の職員が代替することは少なくなったが、開設時間をすこしでも延長すれば指導員不足の問題が顕在化する。また、併せて有料化の問題も検討を要する。	
		放課後児童クラブ施設整備	滝宮小学校の敷地内に放課後児童クラブ専用の施設を新築した。鉄骨造平屋建て135.5㎡(内学級室98.0㎡)	これまで滝宮小学校のなかよし学級は、南原児童館で実施してきたが、学校から児童館までの移動中の事故等が心配されていたところである。また、児童館本来の利用者(自由来館者)との混在も問題視されてきた。今回の施設整備によりこれらの問題は抜本的に解決が図られたが、事業に要した費用の全てが一般財源であることを考えれば、受益者負担の原則により、有料化を検討する必要があると思われる。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者負担の原則から有料化は必要である。</li> <li>・放課後児童クラブの施設整備は進んできているものの、現場の運営体制やその内容のさらなる充実が急務である。</li> </ul>		
教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	④ 青少年が健全に成長できる社会環境づくり	学校支援ボランティア	綾川町では平成20年度から、学校・家庭・地域が一体となって子供を育てる体制を整える「学校支援地域本部事業」に取り組んでいる。現在115名の方が学校支援ボランティアとして登録している。	県の委託事業としての学校支援地域本部事業は、一応本年度をもって終了する。23年度以降はこれまでの実績を踏まえ、町としてこの事業に引き続き取り組み、地域が一体となって子どもを育てる体制を築くよう努める。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティアの登録は充実してきている。学校支援地域本部事業のさらなる活性化が望まれる。</li> </ul>		

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	⑤生涯学習施策の充実	生涯学習講座開設	英会話、陶芸、水彩画など18の講座を公民館等の施設を利用して実施した。パソコン教室についてはワード初級とエクセル初級を予定していたが、ワードは受講希望者が集まらず結局開催できなかった。それ以外の教室については、講座の内容は概ね好評であった。	講座の内容については毎年見直しを行っているが、特に今回はパソコン講座について検討を要する。また、これ以外にも22年度に定員割れした講座については内容の見直しや他の講座との統廃合など対策が必要である。	
		文化協会補助	文化協会に定額補助を行うもの。助成の対象となるのは、各クラブの活動と、文化事業である。文化事業としては本年度から、コミュニティーカレッジを統廃合して実施した。綾川町出身のピアニスト等のコンサートを行い、非常に好評であった。会場についても農村環境改善センターから総合運動公園体育館に移して実施したので多数の方に見ていただけた。	文化事業については、コミュニティーカレッジを統合したため内容の充実したものとなった。23年度は会員の参加を増やす方向で検討実施する。また、各クラブへの活動補助についてはこれまでと同様一定の制限を設けて実施する。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
		A	○文化協会の活動は充実しており、文化事業は大いなる成果を収めた。		
教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	⑥青少年が健全に成長できる社会環境づくり	夏休み子供教室	小学生を対象に、絵画、工作など17の教室を公民館等の施設を利用して実施した。内容については概ね好評であった。	生涯学習講座と同様毎年教室の内容を見直している。クラブとして独立させる性質のものではないので、マンネリ化しないよう注意しつつ今後も実施していく	
		成人式開催	新成人を対象に式典を実施した。対象となる新成人242人うち参加者215人。特に問題もなく運営もスムーズであった	昨年同様大きな混乱もなく式典が実施されている。出席率も高く、記念ビデオの内容も概ね好評であった。	
		町子供会育成連絡協議会補助	子供会育成連絡協議会に定額(50万円)の補助金を交付した。	少子化が加速度的に進行している現状を踏まえ、また、小学校統廃合の動向を勘案しつつ子供会活動のあり方を見直す。当分の間、育成会連絡協議会への助成は継続する。	
		町青年会活動補助	町青年会に対し定額(19万円)の補助金を交付した。	青年会の活動は、残念ながら近時低調で、構成員も15名程度と極めて少ない。まずは会員数を増やすよう指導しているが成果は上がっていない。助成は継続。	
教育委員会評価委員評価及び意見					
A	○夏休み子ども教室や成人式のイベントは、充実している。  ・子ども会や青年会の活動についてはマンネリ化の傾向があり、育成会連絡協議会や青年会事務局の工夫・努力が必要である。				

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	⑦ 生涯学習施策の充実	中央婦人学級開催	毎年、年数回婦人会会員を対象に中央公民館等を利用して婦人学級を開催している。本年度は5月に香川大学から講師を招いて「高齢者との接し方」について講義を受け、11月には兵庫県三木市に環境学習として1日研修を実施した。また、新しい取組として7月に香川人権研究所で人権学習を実施した。	毎年自主的かつ積極的に事業に取り組み内容も充実している。	
		高齢者学級開催及び社会見学補助	各地区公民館で、概ね60歳以上の高齢者を対象に平均月1回の老人学級を開催している。また、年1回バスを利用して社会見学を実施している。	老人学級の運営については、各地区ともそれぞれ工夫がなされ、また自主的に運営されており、高齢者には非常に好評である。	
		婦人会活動補助	婦人会の活動に対し毎年定額(88万円)の補助金を交付している。	綾川町の婦人会は、活動が非常に活発であり、その内容も毎年充実の度を増している。今後も継続されるよう指導する。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
	A	<p>○中央婦人学級、高齢者学級、及び婦人会の活動は非常に熱心で活発である。継続的に推進してほしい。</p> <p>・婦人会活動は活発であると思われるが、自治会によっては若い女性に理解を求めることが必要とされている。</p>			
教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	⑧ 生涯学習施策の充実	人権・同和教育事業	今年度人権啓発事業については、坂出綾歌ブロックで人権をテーマにパンフレットを作成し、町内全世帯に配布した。また、人権週間期間中、児童生徒による人権啓発作品を改善センター等に展示して人権問題の意識向上を図った。広報あやがわに毎月掲載している「同和教育シリーズ」は、本年度から香川人権研究所に執筆を依頼した。また、小学生を対象に集会所で学習会を、また、他の集会所では法話会を実施した。今年度は四国地区人権教育研究大会が高松で開催されスタッフとして参加した。今年度から新しい取組として婦人会の会員に香川人権研究所で講習を受講していただいた。	香川人権研究所に依頼した広報の記事「人権・同和教育だより」については好評であったので23年度も引き続き依頼する。四国地区人権教育研究大会では司会、記録、会場係り等として一定の役割を果たすことができた。また、香川人権研究所における講習については概ね好評であり、今後は他の団体にも呼びかけるとともにこの講習を基に何かの取組を団体として始めていただけるよう指導していく。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
		A	<p>○人権・同和教育に関しては、啓発事業や学習会・講習会への参加等積極的な取り組みがなされた。</p>		

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	⑨ 生涯学習施策の充実	公民館運営	綾川町では8地区に9公民館を設置して管理運営を行っている。公民館の管理運営については、建物を維持管理して住民が集まる拠点となることにとどまらず、社会教育法第20条の立法趣旨に基づき、住民の教養の向上と生活文化の振興を図るため事業を実施することが重要である。具体的には、各公民館で生涯学習講座や夏休み子ども教室、婦人学級や老人学級を実施しているほか、公民館クラブの活動拠点となっている。また、公民館運営協議会の意思決定機関としての性格を高めることで、自主的に運営が行われ地域の特性を生かせるよう工夫している。	公民館の管理運営に関する課題の1つは、綾南地区と綾上地区で運営方針に隔たりがあることであった。このことについて本年度綾上地区の4館に公民館運営協議会を設置することができた。内容はまだ不十分なところもあるが、今後より一層充実させるよう努力していく。また、合併後廃止した公民館クラブの補助金を本年度から復活させた。23年度も引き続きクラブ活動の育成に努める。	
		公民館エレベーター設置設計業務	山田、西分、上羽床の3公民館についてエレベーター設置工事の設計を実施した。	エレベーターの設置は、高齢者や身障者の施設利用の観点から整備が急がれる施策である。山田公民館については平成23年度に、他の2館については計画的に工事を実施する。また、これ以外の公民館についても次期5か年計画の中で実施を検討する。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
		A	○公民館エレベーターの設置工事が整備されたことは、特に高齢者の利用に大いに効果がある。さらには、運営面でも自主的な活動が活発化し、公民館自体の充実が図られている。		
教育委員会					
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
生涯学習課	⑩ 歴史・文化に身近に触れることができる環境づくり	図書館分室運営	平成21年度に整備した図書館分室の運営を、本年度から開始した。現在のところ利用率も予想以上であり、綾上地区の利用者に概ね好評を得ている。	平成24年度から生涯学習センターが共用を開始するので分室との連携を図る必要がある。また、滝宮の旧図書館の図書を持ち込んだため既に閉架図書室を含めて図書が満杯状態である。古くなった不用図書処理のためのルール作りが急がれる。	
		生涯学習センター新築工事	平成21年度に設計を完了した生涯学習センターの新築工事に着手した。完成は平成24年1月、供用開始は平成24年4月の予定である。生涯学習センターは、図書館に資料館機能を併設したもので、木造十一面観音立像をはじめとする郷土の文化財や、綾川町出身の芸術家の作品等を展示する予定である。	今後は、システム導入をはじめとする運営体制の検討が最大の課題となる。また、資料室の設計(建物の設計ではなく展示)について具体的な計画が未定のままとなっており、早急に検討実施しなければならない。	
		教育委員会評価委員評価及び意見			
A	○平成24年度から開館予定の生涯学習センターの新築工事に着手し、計画的な環境づくりを目指している。				

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教育委員会				
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
生涯学習課	⑪ 歴史・文化に身近に触れることができる環境づくり	泉谷遺跡発掘調査事業	土地改良事業実施に伴い発掘調査を行い、複数の住居跡が出土した。弥生時代後期から中世ごろのものと考えられる。調査に基づく報告書の作成は平成23年度に実施する。	発掘調査については予定どおり正確な調査が行われた。町職員の中に専門的知識を持った者がいないため、調査は県教育委員会に頼る部分が大きく、専門職員の育成が課題である。
		木造十一面観音立像保存事業	国指定の重要文化財であり、所有は堂床自治会であるが、町が管理している。	収蔵庫は老朽化が著しく、その修繕については応急的処置にとどまるものである。生涯学習センターの整備が出来次第速やかに移動できるよう今後も文化庁との連絡調整を図ってゆく。
		念仏踊り保存会補助	念仏踊り保存会に対し定額の補助金を交付した。	滝宮の念仏踊りは、国指定の無形民俗文化財であるが、後継者の育成が急務である。
		文化財保護協会補助	文化財保護協会に対し定額の補助金を交付した。協会の活動としては臨地研修が主なものの。	会員の高齢化が進んでいるが、その活動は概ね活発である。
		お田植えまつり事業	お田植えまつり保存会が岡崎市の悠基斎田と毎年交流しており、この交流会に教育委員会の職員が参加している	お田植え祭りについては経済課が所管しており岡崎との交流のみ生涯学習課が参加する必要があるのか検討を要する。
教育委員会評価委員評価及び意見				
B		・郷土の貴重な文化を未来へ引き継いでいけるよう引き続き環境整備に取り組み、地域の文化の活性化に努めてほしい。		
教育委員会				
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
生涯学習課	⑫ スポーツの振興と住民の体力づくり	町体育協会補助	体育協会に対して定額の補助金を交付する。	各部の補助金額の決め方について検討を要する。
		町スポーツ少年団補助	スポーツ少年団に対して定額の補助金を交付する。	スポーツ少年団登録をしていないにもかかわらず補助金を受けている団体が5団体あり、指導の結果2団体は平成22年度に登録済、残る3団体についても平成23年度を目標に登録していただくよう指導を継続する。
		町民ゴルフ大会補助	商工会主催の町民ゴルフ大会に対し教育委員会から定額の補助金を交付するもの	合併前の綾南町から引き継いだ事業である。廃止を視野に入れ検討する。
		幼児体操教室開催	ふれあい運動公園の体育館、プールを利用し、就学前の幼児(4歳児、5歳児)を対象に幼児体操を指導する。	合併前の綾上町から引き継いだ事業である。受講者からは好評を得ており、綾南地区からの参加も多い。また、自主的クラブに発展できる性質のものでないので、今後も教育委員会主催事業として継続する。
サイクルロードレース開催補助	10月17日(日)綾山湖(田万ダム)周回道路で自転車競技大会を開催した。	綾川町の住民が1人も参加しない大会であることから香川県自転車連盟事務局と数回にわたり役割分担について協議を重ね見直しを行った。今後は町内からも参加選手が出せるよう自転車競技の普及発展に取り組む。		
教育委員会評価委員評価及び意見				
B		・スポーツの振興は、地域活性化に大きな力となるとともに、住民一人一人の健康づくりの基盤となるものである。様々な活動に十分な補助とリーダーの育成が急務である。		

5 生涯学習 文化・スポーツ 青少年健全育成 ふれあい・交流

教 育 委 員 会				
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
生涯学習課	⑬	町民綱引き大会 開催事業	自治会対抗の綱引き競技大会である。2月27日(日)を予定している。参加チーム数は大人51チーム子供9チーム	参加チームが固定化する傾向にあるが、今回西分地区から初めて参加があった。教育委員会が積極的に勧誘して未経験のチームの参加を促進する。
		オールナイトソフト ボール大会開催 事業	5月3日～4日ふれあい運動公園野球場においてソフトボール大会を開催した。参加チームは32。	合併前の綾上町から引き継いだ行事であるが合併から4年を経過し旧綾南地域からの参加が着実に増えつつある。
	教育委員会評価委員評価及び意見			
		A	○地域のスポーツ熱を高揚させているソフトボール大会と綱引き大会は、大きな役目を果たしている。	
教 育 委 員 会				
主管	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
生涯学習課	⑭	総合運動公園管 理運営事業	スポーツの普及、発展と住民の体力づくりのため運動公園を設置し、利用に供する。	陸上競技場、テニスコートの利用者が減少しており検討を要する。
		ふれあい運動公 園管理運営事業	スポーツの普及、発展と住民の体力づくりのため運動公園を設置し、利用に供する。	テニスコートの利用者が減少しており検討を要する。
		海洋センタープ ール改修工事設計 業務	施設の老朽化に伴い、改修工事の設計を実施した。	工事は平成23年度を予定していたが、諸般の事情により平成22年度事業として実施する。
教育委員会評価委員評価及び意見				
		B	・総合運動公園の施設使用について、利用条件の改善と活発な広報活動が必要である。	